

4. 試験結果

4.1 圧縮性試験

圧縮性試験における残存幅、圧縮幅及び変形復帰性の測定結果を表-2に示す。

表-2 圧縮性試験結果

試験体	試験項目	測定項目	1	2	3	平均	
水平スリット	残存幅	試験前の厚さ mm	30.8	30.5	31.7	31.0	
		残存幅 mm	1.8	1.8	1.8	1.8	
	圧縮幅	試験前の厚さ mm	30.2	30.2	30.2	30.2	
		圧縮幅 mm	8.2	8.4	8.3	8.3	
	変形可能幅	全試験体の 平均厚さ mm	30.6				
		変形可能幅 mm	20.5				
	変形復帰性	試験前の厚さ mm	30.9	30.8	30.8	30.8	
		復帰厚さ mm	29.5	29.7	29.7	29.6	
		変形量 mm	1.4	1.1	1.1	1.2	
	鉛直スリット	残存幅	試験前の厚さ mm	30.1	30.0	30.0	30.0
残存幅 mm			6.7	6.4	6.4	6.5	
圧縮幅		試験前の厚さ mm	30.0	29.9	30.1	30.0	
		圧縮幅 mm	0.2	0.2	0.2	0.2	
変形可能幅		全試験体の 平均厚さ mm	30.0				
		変形可能幅 mm	23.3				
変形復帰性		試験前の厚さ mm	26.1	27.2	27.1	26.8	
		復帰厚さ mm	26.1	27.2	27.1	26.8	
		変形量 mm	0.0	0.0	0.0	0.0	
備考	変形可能幅及び変形量の計算式 変形可能幅 (mm) = 全試験体の平均厚さ (mm) - 残存幅 (mm) - 圧縮幅 (mm) 変形量 (mm) = 試験前の厚さ (mm) - 復帰厚さ (mm) なお、変形可能幅の試験体厚さは、残存幅及び圧縮幅試験用の6体の試験体の厚さの平均値を用い、鉛直スリットの変形復帰性の試験体厚さは、耐火材部分の厚さの平均値を用いた。						